

「未来の若者へ、明日の北海道へ告ぐ!」

一隅を照らす人になれ! 一人2回連載。

野本流儀、一隅を照らす人になれ! ①

野本 浩一

(JAGGA初代会長、ジョークサロン変集鳥)



野本 浩一
(のもと こういち)
1951年長崎市生まれ。
1975年東京大学法学部卒。
同年三菱重工(株)入社。
名古屋、東京、フィリピン駐在勤務等を経て、2011年会社人から社会人(年金生活者)となる。
ユーモア愛好家とジョークサロン設立。現在は、サロン会報「伝笑鳩」変集鳥、ボードゲーム伝道師、ゲーム講習ボランティアを實踐中。お笑いやイベント関連本の蒐集・読書も楽しむ。

幸せはどこにある?

幸せは北海道・夕張にある。それを鮮やかに色つきで我々に教えてくれたのは山田洋次監督の映画「幸福の黄色いハンカチ」だった。一九七七年十一月に公開されたロードムービーの傑作である。

私は映画の感想を彼女と話した。

◆絶対にハンカチはあると信じていたけれど何十枚もの黄色いハンカチが風になびいているのが見えたら、誰だつて最初は屹驚するに違いないと思うなあ。◆それから安心して、照れるという訳ね。

◆まあね。ホットするのは暫くたつてからという気がしないかい。

◆本当は忘れないで居て欲しいと願いつつ確かめに帰ろうという段になると弱気になっちゃう勇さんの顔が何とも言えないわね。

◆男は非常に照れ屋な訳ですよ。

◆そう? あなたを見てるとそうは見えないわね。でも本当にいい映画という感じね。勇さんが欽也に説教する所も印象的ね。

◆いいか、朱美はおなじや。おなじや

ゆうもんはな、弱いもんじや。咲いた花のごと脆い毀れやすいもんなんじや。男は守つてやらないけん。大事にしてやらないけん。——こら、聞いてつか。

◆モロ、九州な訳ね。ところで、光枝さんはユーモアが解る人じゃないかしら?

◆確かにそうかも知れないな。幸福の黄色いハンカチは何枚あつても嬉しいに違いないんだからね。女性のやさしさに涙が出ますよ。

◆何言つてるの。堂々としなさい、堂々と。一応は、男なんですよ。違つうの?

◆要するに、草野球のキャッチャーではないけないことな訳ですか?

◆そう。ミットも無いんじやね。ワカル?

映画は北海道内を釧路から車で周回最後は夕張に到着するロードムービーの傑作でした。光枝さん(倍賞千恵子)が勇作さん(高倉健)を待つているのか観客も気が気ではなかったのです。

最後の最後に、夕張の青空にはためく何十枚もの黄色いハンカチを観ることにした観客全員もどよめきました。映画で巡った北海道700kmはどん

なルートだったのか!:

釧路西港→網走周辺→小清水原生花園→達古武沼→美幌峠→阿寒湖→陸別駅→櫻井牧場→上士幌周辺→帯広付近→南富良野→新得→富良野→歌志内→砂川→そして最後は夕張。さまざまな表情を見せる北海道は観客にも大きな魅力でした。

映画を楽しんだ後、喫茶店でデートする事になった私は彼女を待つ間にあれこれと考えていました…

◆幸せはやはり気分の問題だ。一日幸せになるうと思えば、床屋へ行き、気持ち行がサッパリした所で、コーヒー飲みに行くのもいいな。「ブルータス、お前モ力なら、俺ゴロンビア」って注文したいけど、彼女が「私、ブルーマウンテン」と注文したらどう言えはいいのかなあ。

◆幸せつて何処にあると思つ?

◆急にそんなこと聞かれても困るなあ。君と僕の間にある、というのは、どう?

◆もう! 少しはちゃんと考えてよ。

◆幸せは外にある、というのが本当の気持に近いな。

◆違うの。残念でした。

◆じゃ、何処にあるの?

◆幸せは、ミナミにあるの。何気無く、「辛」という字を眺めていたの。そこにね、一本の棒—支え棒ね—を加えると、「南」という字になったの。

◆なるほど。

◆だから幸せは、南にあるの。

◆参りました。

◆いくつ?

◆二十六才。

◆砂糖のことを聞いたの!

「幸福の黄色いハンカチ」では「幸せ」は夕張にあつた。若かりし頃、親しかつた女性が見つけた「幸せ」はミナミにあつた。北にも南にも、言うまでも無く東にも西にも至る所に「幸せ」はある。

◆幸せはどこにあるか。一人ひとりの心の中にある。

◆人を大切に、もう一息頑張つてみよう。

◆「人」は「憂」いを「優」しさに変える。そして、もう「一」息頑張れば「辛」さは「幸」せに変わるのだから。